

第 221 回 日本経営倫理学会・理念哲学研究部会・例会のご案内

部会長 村山元理

日時 2017 年 7 月 24 日 (月) 18:00~20:00

場所 日本経営道協会・企業家ミュージアム

東京都千代田区外神田 2-2-19 丸和ビル 2 階, Tel 03-5256-7500

参加者 佐藤・宇佐神・山本・辻井・市川・望月・村山の 7 名

欠席届 古山・新川・緒賀・長塚・井上 (8 月参加) ・大塚祐一さん (麗澤大学院・8 月に初参加)

議題

- ・古山氏『**商社マン転じて大学教員、及びいわゆるカルテル行為の倫理的側面**』 (村山代読)

本ペーパーの批評が行われて、以下のような修正が求められた。

- ・「第一部ライフストーリーから学ぶ道徳」の部分では、道徳の学び (父母・地域・恩師・友人関係など) が書かれておらず、徳にまつわる道徳形成のストーリーが書けていない。この部分がないなら、起承転結のストーリーにならない。人類社会への義務としての道徳形成、教訓がない。道徳と倫理の違いとは? 義務論では誰に対する義務か? ・世相を表す客観的な史実は不要ではないか。主体的にどのような影響を受けて、何を考えたのかが分かれば生かされるが。
 - ・商社マンに関するジェネラルな解説を付けて、一般の学生に職業としての特色を理解させる文章をつけるべきである。今の商社と当時の商社の違いは? 商社不要論もあるなか、いかに商社が生き残ってきたのか。商社とは何か? ・商社金融、バイセル取引の功罪について?
 - ・会社内における、地位のことが全く書かれていない。サラリーマン人生がどのような階梯であるのかが分かると、読者に便利である。
 - ・「3. 商社勤務時代に経験した経営倫理問題」については、アメリカの量刑ガイドラインが 1990 年以降コンプライアンス体制を強化したはずであるが、海外ビジネスに関わっていたら、関係していたと思われるが、その話がない。
 - ・「4. カルテル行為」に関しては、独立した文章にしたほうが良い。
 - ・ビジネスは汚いと先の先入観に対して: メザンの土光敏夫さん、伊藤忠商事で 6 か月無給、電車通勤し、V 字回復させた丹羽宇一郎さんの事例。
 - ・ビジネスは汚いと事例: OO 証券で、社員の自殺続き。 (Y さんより)
 - ・母からの教育「男らしく生きろ」で裁判へ、4 歳上の兄の体験した OO 証券 (Y さんより)
- ・『21 世紀の経営倫理と精神—現状と課題』目次案の検討: 別紙添付

今後の予定の確認 毎月第 4 月曜日

8 月 24 日 (木) 17:30— 暑気払い サイゼリヤ上野広小路店 03-5688-7180

東京都台東区上野 2-7-12 鈴本ビル 2F 地下鉄銀座線 上野広小路駅 A2 番出口 徒歩 2 分

9 月 25 日 (月) 18:00~20:00 企業家ミュージアム

10 月 23 日 (月) 18:00~20:00 企業家ミュージアム

11 月 27 日 (月) 18:00~20:00 企業家ミュージアム

以上